

カルテ作成の評価基準表

		円滑に移動(通行)できる	移動(通行)はできるが、円滑に移動(通行)するには問題がある	移動(通行)ができない	表示優先順位	
車イス・シルバーカー使用者	歩道の設置状況	・ 歩道が設置され、歩道の高さが5cm以上 ・ 歩車道分離のための縁石高さが15cm以上 ・ 安全柵・車止め等が設置されている ・ 歩行者専用道	・ 右記以外 	-		
	幅員	移動不可の障害物を含む有効な幅員	・ 2m以上 * シルバーカーは1m * 歩道設置の場合は、歩道内幅員 * 白線がある場合は、白線内幅員 * 白線が無い場合は、通行可能自動車幅員を除いた幅員	・ 1~2m * シルバーカーは1m * 歩道設置の場合は、歩道内幅員 * 白線がある場合は、白線内幅員 * 白線が無い場合は、通行可能自動車幅員を除いた幅員	・ 1m未満 * シルバーカーは1m * 歩道設置の場合は、歩道内幅員 * 白線がある場合は、白線内幅員 * 白線が無い場合は、通行可能自動車幅員を除いた幅員	
		駐輪等移動可能障害物を含む有効幅員	・ 2m以上 * 幅員計測方法は同上	・ 1~2m * 幅員計測方法は同上	・ 1m未満 * 幅員計測方法は同上	
	縦断勾配	・ 5%以下	・ 5%~8%	・ 8%を超える		
	横断勾配(車イス通行部分1m幅において)	・ 1%以下	・ 1~2%	・ 2%を超える		
	段差(車イス通行部分1m幅において)	・ 段差は無し	・ 0~2cmの段差がある * 2cmは視覚障害者から望ましい値	・ 2cm以上の段差がある * 2cmは視覚障害者から望ましい値		
	舗装	平らででこぼこが無い	多少でこぼこがあるが、移動(通行)可能	でこぼこがあり、移動(通行)不可		
	側溝、水路等への対策	・ 安全柵などの設置があり、転落の可能性無し	・ 安全柵などが無く、転落の可能性あり	-		
信号横断歩道横断可能時間	・ 横断可能時間 > 横断距離 / 0.7m/秒 * 0.7m/秒は、車イス(電動)の最も遅い歩行速度 <参考> 車イス(手動)は約1.13m/秒	・ 横断距離 / 0.7m/秒 > 横断可能時間 > 横断距離 / 1.7m/秒 * 1.7m/秒は、車イス(電動)の最も早い歩行速度	・ 横断距離 / 1.7m/秒 > 横断可能時間			
下肢障害者・高齢者	歩道の設置状況	・ 歩道が設置され、歩道の高さが5cm以上 ・ 歩車道分離のための縁石高さが15cm以上 ・ 安全柵・車止め等が設置されている ・ 歩行者専用道	・ 右記以外 	-		
	幅員	移動不可の障害物を含む有効な幅員	・ 1.2m以上 * 歩道設置の場合は、歩道内幅員 * 白線がある場合は、白線内幅員 * 白線が無い場合は、通行可能自動車幅員を除いた幅員	・ 0.9~1.2m * 歩道設置の場合は、歩道内幅員 * 白線がある場合は、白線内幅員 * 白線が無い場合は、通行可能自動車幅員を除いた幅員	・ 0.9m未満 * 歩道設置の場合は、歩道内幅員 * 白線がある場合は、白線内幅員 * 白線が無い場合は、通行可能自動車幅員を除いた幅員	
		駐輪等移動可能障害物を含む有効幅員	・ 2m以上 * 幅員計測方法は同上	・ 1~2m * 幅員計測方法は同上	・ 1m未満 * 幅員計測方法は同上	
	舗装	・ 平らででこぼこが無い	・ 多少でこぼこがあり、転倒の危険あり	-		
	側溝、水路等への対策	・ 安全柵などの設置があり、転落の可能性無し	・ 安全柵などが無く、転落の可能性あり	-		
	信号横断歩道横断可能時間	・ 横断可能時間 > 横断距離 / 0.4m/秒 * 0.4m/秒は、下肢障害者(杖使用)の最も遅い歩行速度 <参考> 高齢者の歩行速度は0.8m/秒~1.3m/秒	・ 横断距離 / 0.4m/秒 > 横断可能時間 > 横断距離 / 0.9m/秒 * 0.9m/秒は、下肢障害者(杖使用)の最も早い歩行速度	・ 横断距離 / 0.9m/秒 > 横断可能時間		
視覚障害者	歩道の設置状況	・ 歩道が設置され、歩道の高さが5cm以上 ・ 歩車道分離のための縁石高さが15cm以上 ・ 安全柵・車止め等が設置されている ・ 歩行者専用道	・ 右記以外 	-		
	交差点角切り部分の段差	・ 2cmの段差がある * 2cmは視覚障害者から望ましい値	・ 段差が無い	-		
	誘導ブロック・警告ブロックの設置状況	・ 設置	・ その他	-		
	音響信号機の設置状況	・ 設置	・ その他	-		
	信号横断歩道横断可能時間	・ 横断可能時間 > 横断距離 / 1.0m/秒 * 1.0m/秒は、視覚障害者(白杖使用)の最も遅い歩行速度	・ 横断距離 / 1.0m/秒 > 横断可能時間 > 横断距離 / 1.1m/秒 * 1.1m/秒は、視覚障害者(白杖使用)の最も早い歩行速度	・ 横断距離 / 1.1m/秒 > 横断可能時間		
聴覚障害者	交差点等での案内板の設置状況	・ 設置	・ その他	-		

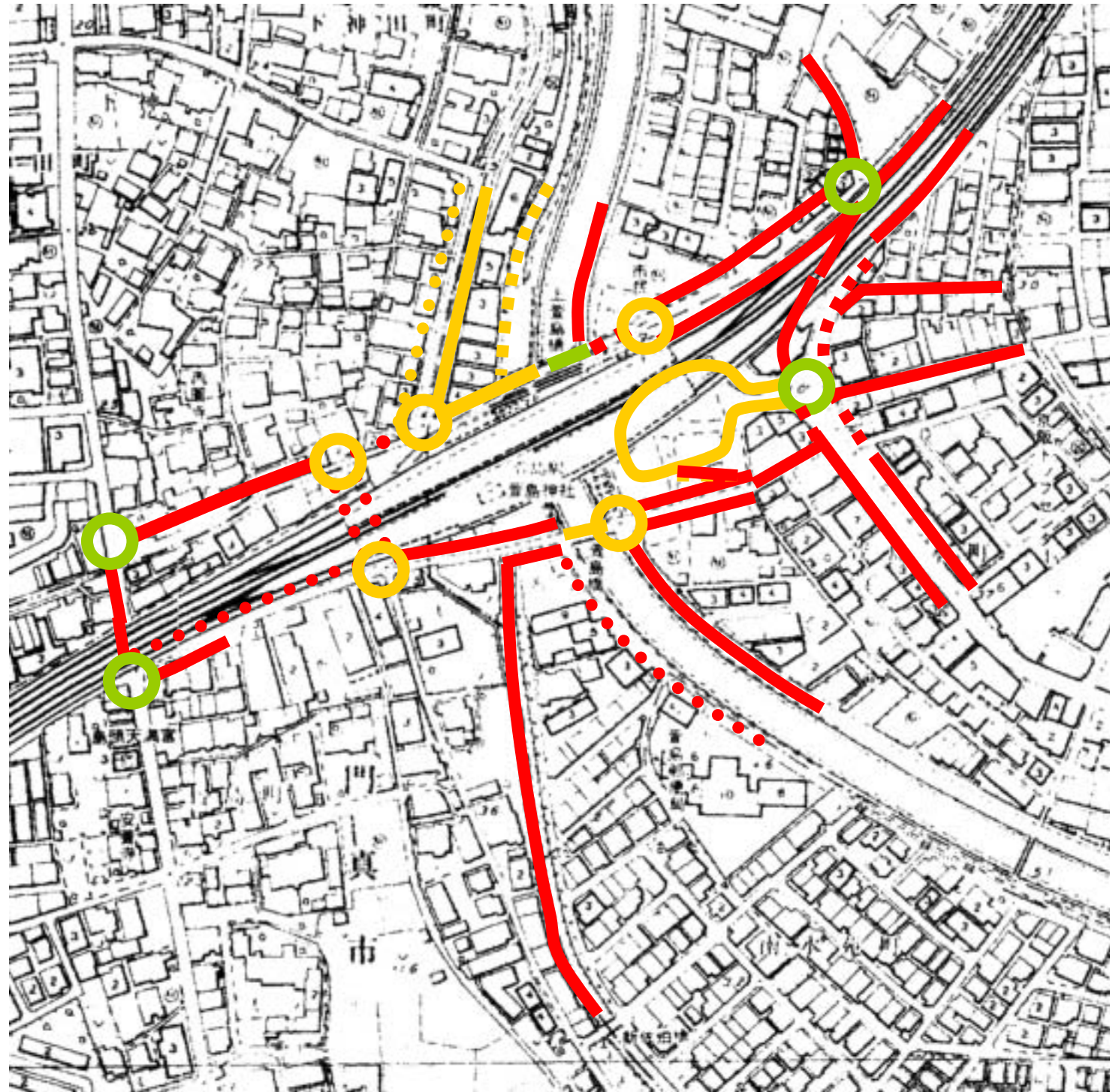
総合評価方法は、障害等種別毎に赤がひとつでもあれば赤、赤が無く黄色がひとつでもあれば黄色、その他は緑で表現し、複数ある場合は、表示優先順位の最も高いもので表現する
カルテ内の該当箇所を上記3色で課題を示す
交差点は、 等で表示

バリアフリーの状況

萱島駅

車椅子・シルバーカー

駅周辺



凡例 1 (通行の可否)	
	円滑に通行できる
	通行できるが、円滑に通行するには課題がある。 (通行の支障となる課題が少なくとも1つある)
	通行ができない (通行できなくなる課題が少なくとも1つある)
	: 通路区間
	: 交差点

凡例 2 (課題の種類)		
	幅員 (移動不可の障害物を考慮)	通路区間
	幅員 (駐車・駐輪など移動可能な障害物を考慮)	
	勾配(縦断)	
	段差(車椅子通行部分)	
	側溝・水路等への対策	
	舗装	交差点
	歩道の有無	
	信号横断歩道の横断可能時間	

課題が複数ある場合は、上記 ~ の優先順位に基づいて、優先順位の高い課題を表示



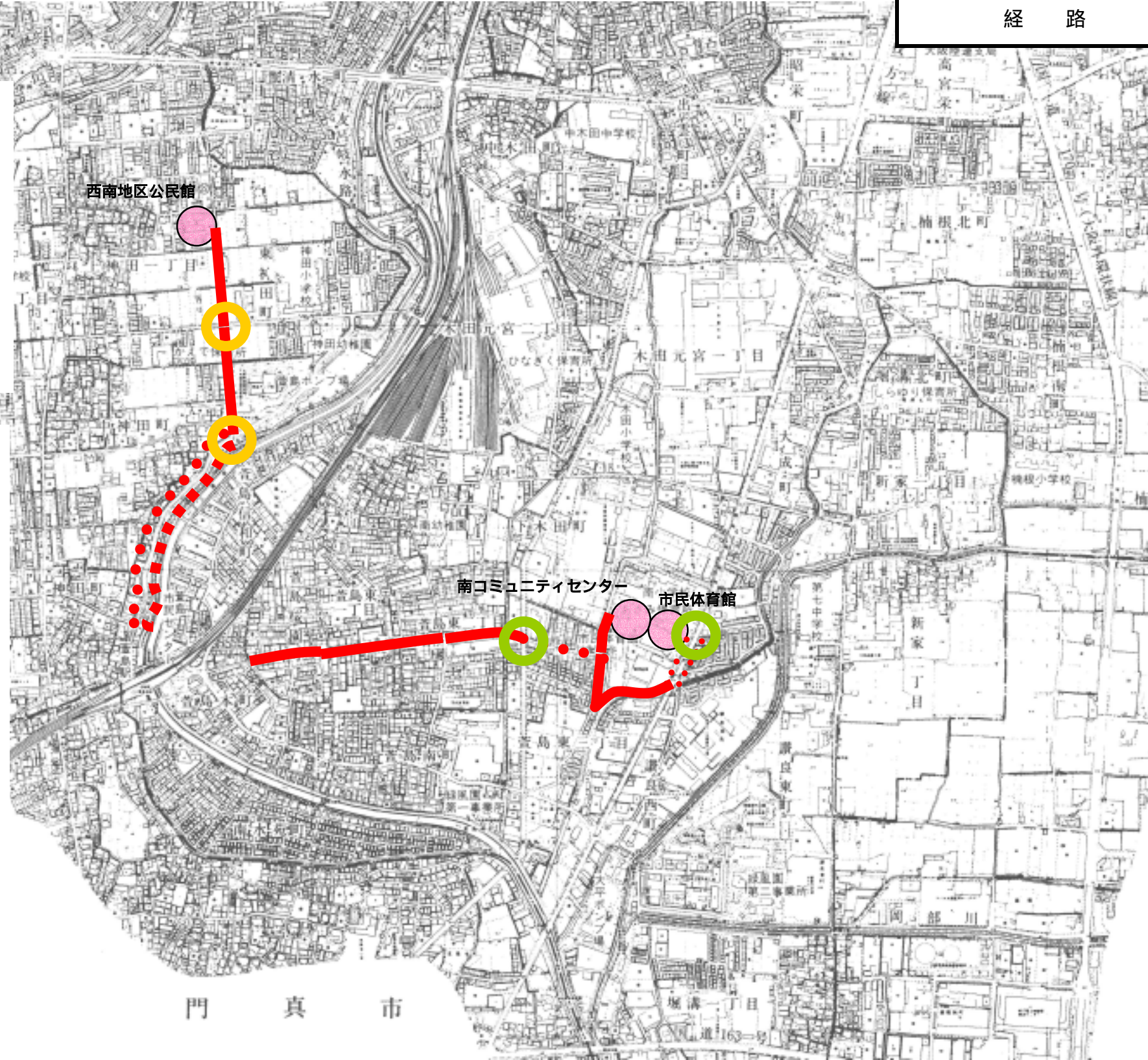
凡例 1 (通行の可否)

	円滑に通行できる
	通行できるが、円滑に通行するには課題がある。 (通行の支障となる課題が少なくとも1つある)
	通行ができない (通行できなくなる課題が少なくとも1つある)
	: 通路区間
	: 交差点

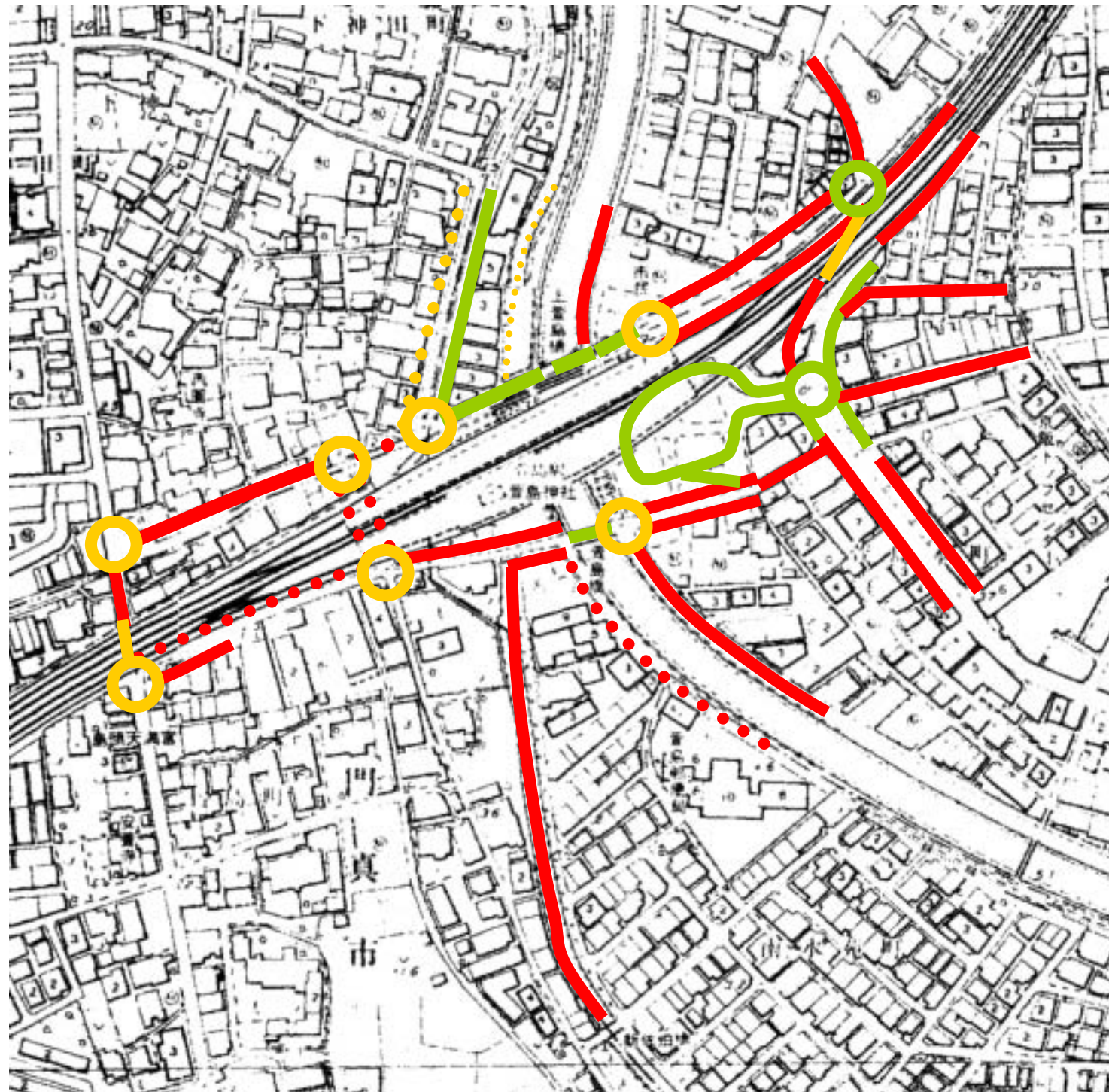
凡例 2 (課題の種類)

	幅員 (移動不可の障害物を考慮)	通路区間
	幅員 (駐車・駐輪など移動可能な障害物を考慮)	
	勾配(縦断)	
	段差(車椅子通行部分)	
	側溝・水路等への対策	
	舗装	
	歩道の有無	交差点
	信号横断歩道の横断可能時間	

課題が複数ある場合は、上記 ~ の優先順位に基づいて、優先順位の高い課題を表示



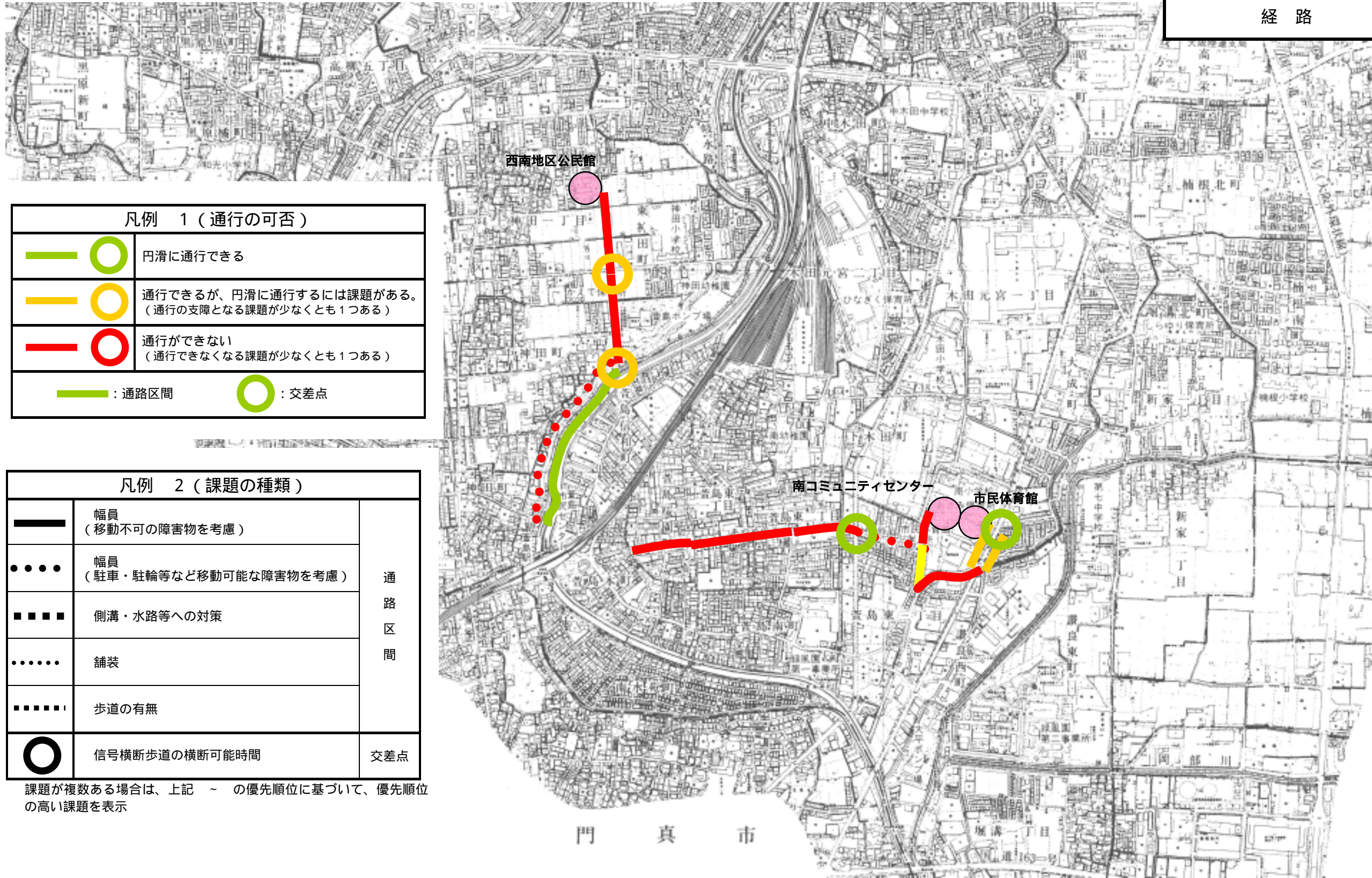
門 真 市



凡例 1 (通行の可否)	
	円滑に通行できる
	通行できるが、円滑に通行するには課題がある。 (通行の支障となる課題が少なくとも1つある)
	通行ができない (通行できなくなる課題が少なくとも1つある)
	: 通路区間
	: 交差点

凡例 2 (課題の種類)		
	幅員 (移動不可の障害物を考慮)	通路区間
	幅員 (駐車・駐輪など移動可能な障害物を考慮)	
	側溝・水路等への対策	
	舗装	
	歩道の有無	
	信号横断歩道の横断可能時間	交差点

課題が複数ある場合は、上記 ~ の優先順位に基づいて、優先順位の高い課題を表示



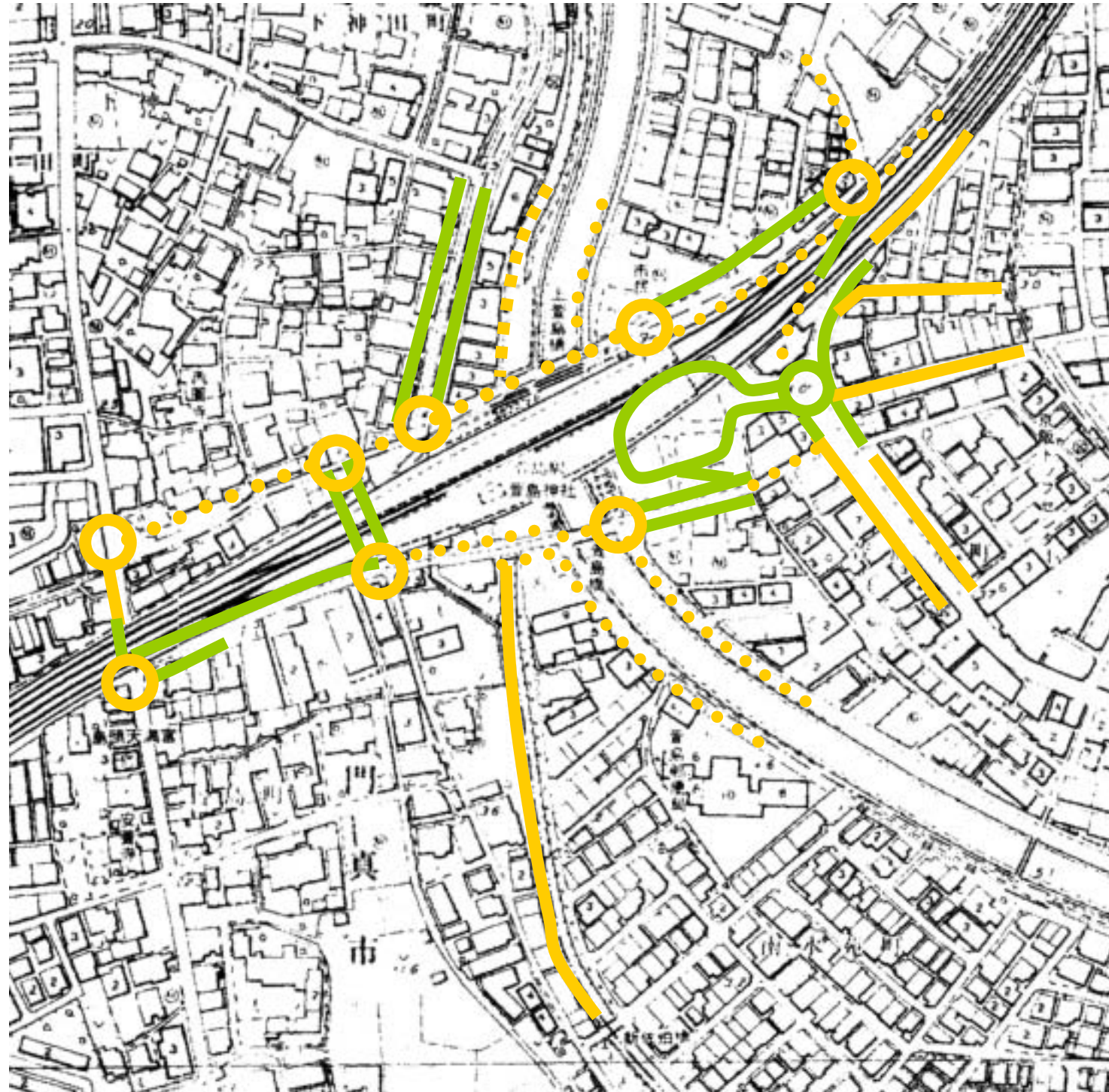
凡例 1 (通行の可否)

	円滑に通行できる
	通行できるが、円滑に通行するには課題がある。 (通行の支障となる課題が少なくとも1つある)
	通行ができない (通行できなくなる課題が少なくとも1つある)
	: 通路区間
	: 交差点

凡例 2 (課題の種類)

	幅員 (移動不可の障害物を考慮)	通路区間
	幅員 (駐車・駐輪など移動可能な障害物を考慮)	
	側溝・水路等への対策	
	舗装	
	歩道の有無	
	信号横断歩道の横断可能時間	交差点

課題が複数ある場合は、上記 ~ の優先順位に基づいて、優先順位の高い課題を表示



凡例 1 (通行の可否)	
	円滑に通行できる
	通行できるが、円滑に通行するには課題がある。 (通行の支障となる課題が少なくとも1つある)
	通行ができない (通行できなくなる課題が少なくとも1つある)
	: 通路区間
	: 交差点

凡例 2 (課題の種類)		
	歩道の有無	通路区間
	誘導ブロックの有無	
	音声信号の有無	交差点
	段差	

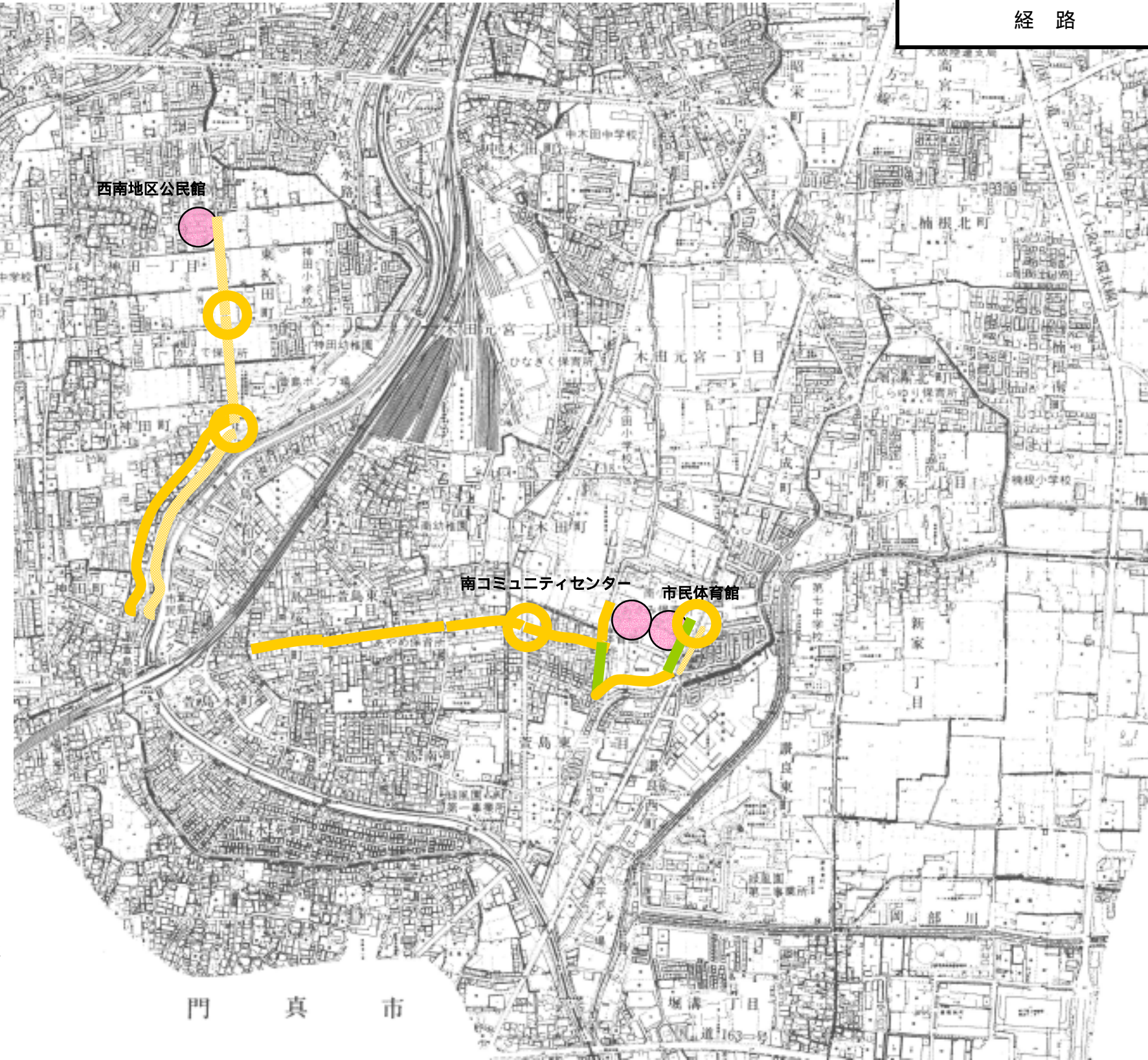
課題が複数ある場合は、上記 ~ の優先順位に基づいて、優先順位の高い課題を表示

バリアフリーの状況

萱島駅

視覚障害者

経路



凡例 1 (通行の可否)

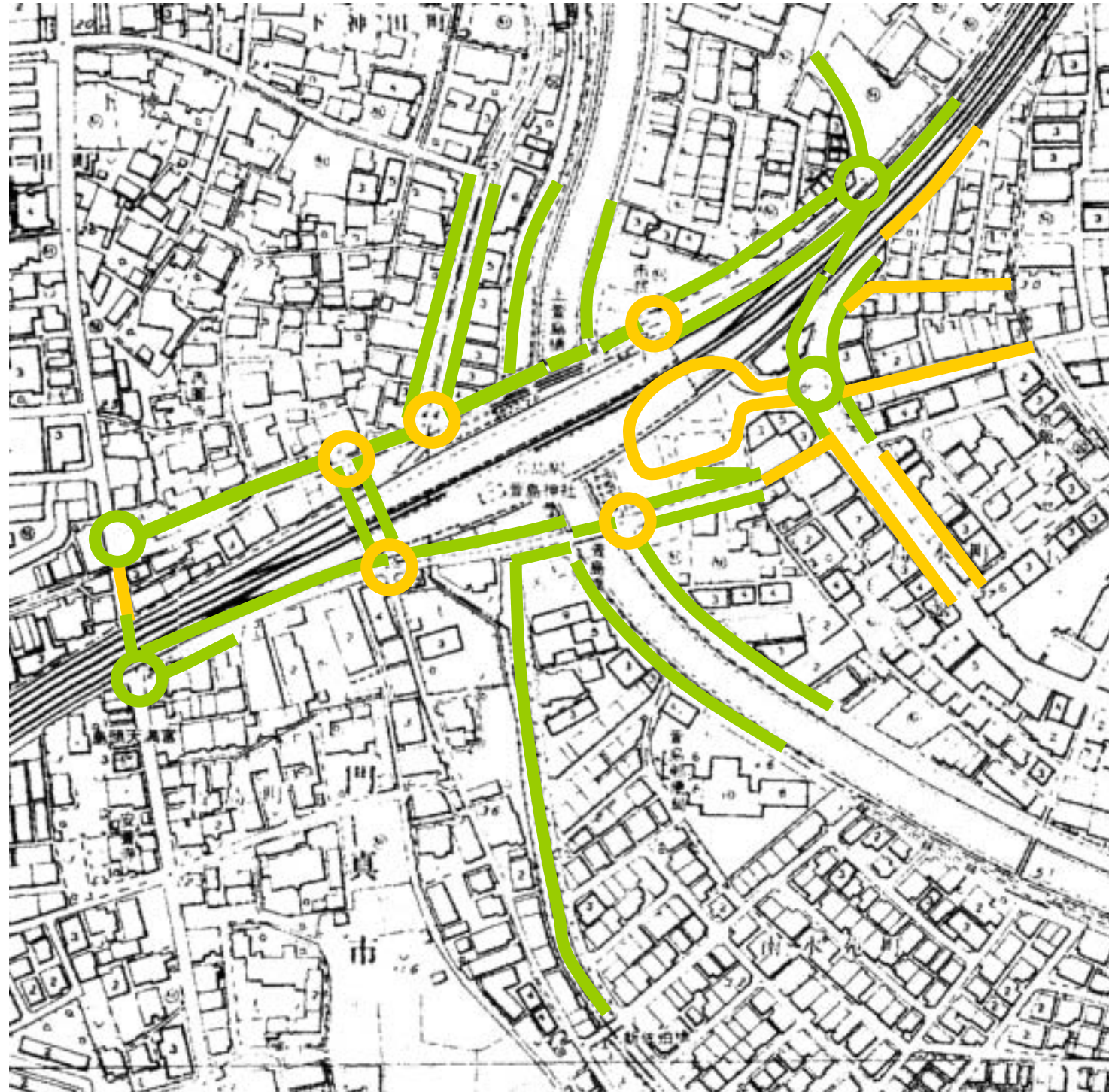
	円滑に通行できる
	通行できるが、円滑に通行するには課題がある。 (通行の支障となる課題が少なくとも1つある)
	通行ができない (通行できなくなる課題が少なくとも1つある)
	: 通路区間
	: 交差点

凡例 2 (課題の種類)

	歩道の有無	通路区間
	誘導ブロックの有無	
	音声信号の有無	交差点
	段差	

課題が複数ある場合は、上記 ~ の優先順位に基づいて、優先順位の高い課題を表示

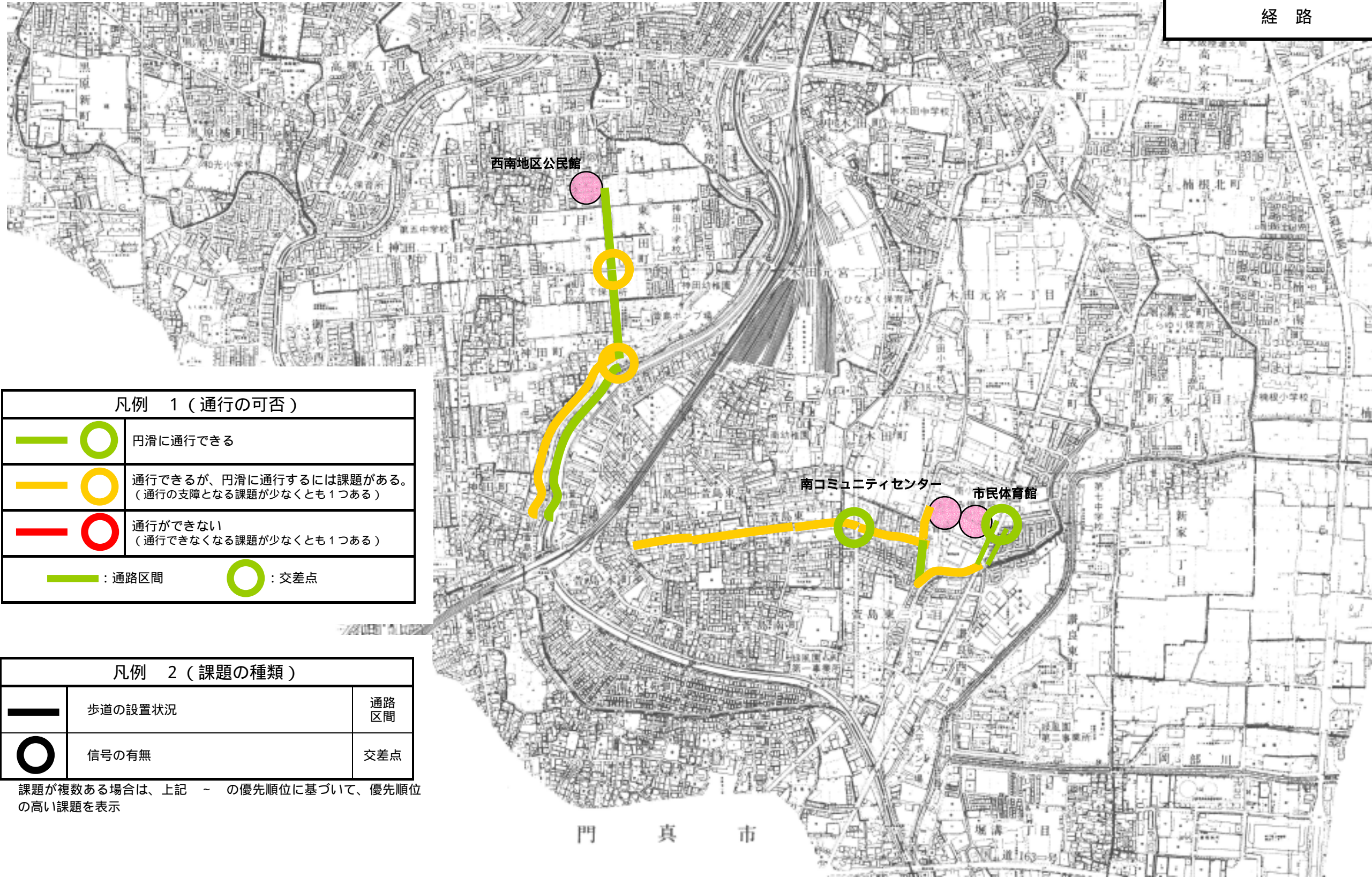
門 真 市



凡例 1 (通行の可否)	
	円滑に通行できる
	通行できるが、円滑に通行するには課題がある。 (通行の支障となる課題が少なくとも1つある)
	通行ができない (通行できなくなる課題が少なくとも1つある)
	: 通路区間
	: 交差点

凡例 2 (課題の種類)		
	歩道の設置状況	通路区間
	信号の有無	交差点

課題が複数ある場合は、上記 ~ の優先順位に基づいて、優先順位の高い課題を表示



凡例 1 (通行の可否)

		円滑に通行できる
		通行できるが、円滑に通行するには課題がある。 (通行の支障となる課題が少なくとも1つある)
		通行ができない (通行できなくなる課題が少なくとも1つある)
		: 通路区間 : 交差点

凡例 2 (課題の種類)

	歩道の設置状況	通路区間
	信号の有無	交差点

課題が複数ある場合は、上記 ~ の優先順位に基づいて、優先順位の高い課題を表示